



# HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	HUSCAPレター 第24号 : 私の研究 : 橋本雄一 大学院文学研究科・文学部・教授 「Quantum GIS による北海道の津波ハザードマップ開発」
Issue Date	2013-03
Doc URL	<a href="https://hdl.handle.net/2115/88205">https://hdl.handle.net/2115/88205</a>
Type	journal
File Information	hletter24.pdf



## 北海道大学学術成果コレクション

# HUSCAP レター

今回は、全学教育科目「社会の認識 都市地理学入門」で、前年に引き続き「授業アンケートによるエクセレント・ティーチャーズ」(2011年度)に選出された、橋本先生にお話を伺いました。

## 私の研究

橋本 雄一

大学院文学研究科・文学部教授

私が、専門として研究を行っているのは都市地理学であり、近年は都市における内部構造変容と災害への社会的脆弱性との関係を研究しています。そのために極めて重要なツールとなっているのはGIS（地理情報システム）です。GISとは、地図データと属性データとをコンピュータ上で統合した地理空間情報を検索・分析・表示するためのシステムであり、その社会的重要性が日本で広く認識されるようになった契機は1995年の阪神淡路大震災です。この時には情報収集や集約が十分に行えず、情報不足の状態ですら政府、官庁、地元行政機関、防災関連機関などが災害時支援を行わなければなりません。そこで今後の災害対応のためにGISおよび地理空間情報の整備が、国家的社会基盤として進められてきました。

2007年に地理空間情報活用推進基本法が施行され、さらに2008年に地理空間情報活用推進基本計画が閣議



決定されて、GIS・衛星測位・地理空間情報の高度活用のための環境整備、人材育成、国と地方公共団体の連携強化などを行う準備が整えられました。さらに、2012年には新しい地理空間情報活用推進基本計画が策定され、地理空間情報高度活用社会の実現を目指すこと、その中で東日本大震災の経験から災害対応を重視することなどが決められました。このような社会的に大きな動きと、大学での教育研究を結びつけ、来るべき地理空間情報高度活用社会を担う人材を育成することが、私の任務であると考えています。

2013年4月1日、学位規則改正

**博士論文はインターネットで公表することになります。**

あなたの学位論文もHUSCAPで世界に発信しませんか？

論文の電子ファイルを([repo@lib.hokudai.ac.jp](mailto:repo@lib.hokudai.ac.jp))までお送りください！

